

コンテナ発行情報について

1. はじめに

モバイル FeliCa OS Version 2.0 に対応した FeliCa チップに設定される情報のうち、FeliCa チップの発行者が任意に設定可能な箇所があります。おサイフケータイ対応携帯電話では下記のガイドラインに従った情報が設定されますので、この情報を用いて機種判別を行うことが可能です。

2. コンテナ発行情報のガイドライン

モバイル FeliCa OS Version 2.0 に対応した FeliCa チップは、チップ全体に関連する情報を扱うコンテナと呼ばれる領域を持っています。

(コンテナ発行情報のリーダー/ライターからの取得方法については FN のサポートサイト (<https://oda.nsxpres.com/oda/FN/public.do>) より提供される資料をご参照ください。)

コンテナに格納される情報のうち、コンテナ発行情報と呼ばれる 16 バイトの情報があります。おサイフケータイ対応携帯電話に搭載される FeliCa チップ(モバイル FeliCa OS Version 2.0 搭載の FeliCa チップ) には、以下のようなフォーマットに従った情報が設定されます。

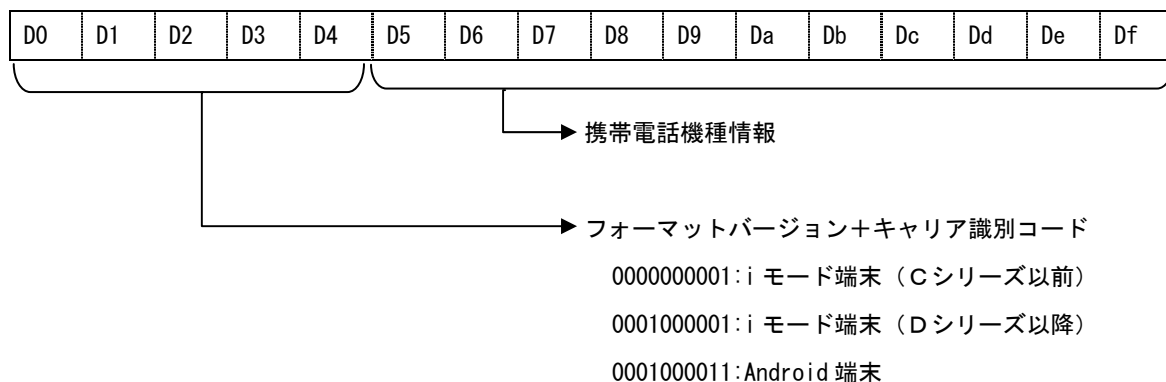


図 2-1 コンテナ発行情報のフォーマット

携帯電話機種別情報には、HTTP 通信時の User-Agent ヘッダに格納されるものと同様の機種名情報(例えば X903i など) が ASCII コードで格納されます。機種名情報が 11 バイトに満たない場合は、末尾は 0x00 でパディングされます。

(例) X903i の場合 : 0x5839303369000000000000

携帯電話出荷直後の Android 端末はコンテナ発行情報が全て 0x00 となっており、初期設定時に図 2-1 の値が設定されます。